

Contact from Essence  
Healing Effects of Dolphin Encounters

Yurika Nozaki McLaughlin

## 摘要

野生のイルカと泳ぐと、ヒーリングが起こると言われています。

1991年、この可能性に私はすぐに夢中になりました。私はイルカと泳ぎ、自分で試してみました。とても深いヒーリングを経験し、人々に野生のイルカと泳ぐ機会を提供したいと思い始めました。

1992年、イルカとの出会いによるヒーリング効果を体験したいというあらゆる年齢の日本人向けに、バハマでのワークショップの開催を始めました。

現在、14年後、では、実際に何がイルカのヒーリング効果なのか、と考えています。私たちの4Dにどのように作用するのか？起こるべきヒーリングのために必要な本質的な要素はなにか？ヒーリング効果は他と比べて人生にどのように影響するのか？

2005年に私のドルフィンワークショップに参加し、野生のイルカと近くで遭遇した日本人に対して行った調査による研究では、ドルフィンスイムの究極の価値を発見しました。その結果分析は、様々な年齢、性別、バックグラウンドの人々におけるユニークなドルフィンヒーリング効果を示しています。

ドルフィンスイム効果研究の結果、そしてBHSヒーリングの私の知識から、ヒーリングの2つのモードを結合し、BBSHヒーラーとして、どのように人々の気づきや、生活にイルカのエネルギーを統合することをサポートできるかを探求します。

## 序文

イルカと泳ぐ人の数が増えてきました。  
私が現在住んでいるハワイ島では、日常的に野生のイルカと泳げる湾がいくつもあります。私が最初に野生のイルカと泳いだのは15年前のバハマで、それ以来、イルカにとっても興味を持っています。イルカには人間を癒す特殊な能力があるという人がたくさんいます。これは論争的となる説で、科学的に説明や定義されていません。

しかし、イルカが包含するヒーリングパワーはなんだろうと不思議に思います。なぜ人々はイルカと泳ぎたいのか？  
イルカと泳ぐことによって、どんなサイコスピリチュアルな恩恵を人々は受け取るのか？  
身体的、感情的、意識的に、その人に何が起こるのか？  
また、その人と関係のある人々、社会に何が起こるのか？

私の究極の目的は、ドルフィンヒーリングの深い価値を探求し、ヒーリングへの多面的なアプローチから人々を助けるための効果のあるツールとして、Barbara Brennan School for Healing (BBSH)のカリキュラムにどのように統合して使えるか発見することです。  
特に日本で、最終的には世界中で、人間の健康と意識の成長をサポートするために、ドルフィンヒーリングと、ヒューマンエネルギーフィード(HEF)、ハラ、コアスターをどのように統合できるか考えています。

この研究は、Healing Vacation in Hawaiiという2005年7月、8月、9月の私のワークショップに参加した日本人に行った調査を含みます。  
各参加者のイルカとの遭遇はヒーリングの一定のレベルのポジティブな効果があり、彼らの全体的な人生の質に影響を与えたと、この結果の分析は示しています。さらに、野生のイルカと泳いだ参加者が体験したヒーリングレスポンスは、参加者が帰国してからの日本と同様、ここハワイのグループダイナミックの中の日本人グループ意識に影響を及ぼしました。

## ヒストリー

イルカは癒す能力があるという考えは、1970年代中頃、医学と獣医学の研究に携わっていた、Royal Society of Medicineの特別研究員、ホラス・ドブス博士によって注目されました。

イルカは人々の精神を高揚させ、心理学者のように、根気よく人間の行動に反応する能力があることを彼は経験しました。ドブス博士は、慢性的にふさぎ込んだ男性を野生のイルカと泳がせてみました。その体験後、男子の鬱はかなり改善されました。ドブス博士は彼の研究を「Operation Sunflower」と呼び、同じような方法で多くの他の鬱病患者を助けました。

それ以来、アメリカ中で共有されていた、真実の探求、または生きることの深い意味に答えるように、アメリカ社会にニューエイジムーブメントが生まれました。アメリカ人は物質主義な人生を生きることに疲れ、身体と心と精神のバランスを失っていました。

特にニューエイジコミュニティでは、ヒーリングソースとして野生のイルカに注目し始め、ハワイ、バハマ、イギリス、フロリダなどでイルカと泳ぎ始めました。

トレガーボディワークの教師である関野直之氏は、イルカと泳ぐことは細胞レベルの変容を促し、10冊の本を読み、ワークショップに参加するよりもずっとパワフルだと言います。

1990年代までに、イルカはたくさんの人に大きな影響を与えました。

## 私のイルカ体験

1991年、イルカは人々の中にあるヒーリングプロセスの引き金を引く能力や、人生を変える能力を持っていて、その変化は細胞レベルで起こると、初めて聞きました。

私はすぐにこの可能性に興味をそそられました。

その時、10年間勤めた会社をちょうど辞めたところでした。私は自分自身の人生を熱望していました。私は本当の自分を探していました。ずっと心に欠けていたものを探していました。仕事はありません。将来の計画もありません。独身でした。自分自身と切り離されていて、人生で感情的に落ち込んでいるときでした。

私はハワイ島を訪れ、ある湾で野生のイルカと泳ぎました。イルカは彼らのポットメンバーのひとりとして泳ぐよう私を誘い、私は彼らの可愛い声に囲まれていました。彼らのうちの1頭と、数秒間アイコンタクトをしました。大きな無条件の愛、受け入れ、許しを感じました。

水中で4時間を過ごし、家に戻りました。体、心、精神にバランスを感じました。お腹、腸、頭さえ、空っぽでクリアに感じ、以前の状態とは大きな違いを感じました。自分の体が穴の開いたクリスタルバンプーのように感じました。カラーペンでイルカを描いたり、友達と歌をうたいたい気分でした。これらは新しい感覚です。私はほとんど絵を描いたり歌ったりしません。

私は自分のハートと強く繋がったように感じ、泣き出しました。自分が抱いていることに気づいていなかった、無条件の愛と受け入れられることへの深い憧憬を、涙は解放しました。イルカは、私のディフェンスとマスクを超えて、細胞レベルで私を認識したと感じました。しばらくの間、私の真実のコアエッセンスがはっきりとさらけ出されるのを感じました。

もっと自分の人生を愛と平和で満たしたい、人との関係でもっと親密さを感じたいということに気がつき始めました。私の中で何にかが変わりました。

それ以降、ハワイ、バハマ、日本、フロリダ、紅海、オーストラリアなどで野生のイルカと泳ぐ機会がたくさんありました。

イルカとの出会いは、その人の人生における変容の種と成りえる経験です。野生のイルカと泳いだあと、経験はとてもユニークだったので、日記にそのことを書き続けていました。

間もなく、日本であるジャーナリストに出会い、彼は私のドルフィン体験はユニークなので、本を書くことを勧めました。彼のアドバイスと助けで、日記を編集し、書き直す時間を取りました。

「イルカと会って聞いたこと」という私の本は、野生のイルカとの私の体験に基づいており、たとえば、ドルフィンヒーリング、捕獲、イルカ猟、水中出産、

スピリチュアルグロース、気づきなど、イルカに関連するたくさんのトピックスが含まれています。

人生で自分自身のパワーと再び繋がることを促す本として、日本の若い人や中年層向けに書かれています。

それから 10 年間で他に 4 冊の本を出版しました。私の野生のイルカとの出会いは、人生の変容の可能性への閃光、他のレベルへの意識のシフトを与えてくれました。その種が成長するのに必要な、土壌、水、太陽、空気の要素は何かと問い始めました。

## サイコスピリチュアル現象・・・成長の本質的要素

### 安全な場所（土壌）

イルカ達はポッドやグループで生活していて、ポッドコンシャスネスと言われるグループ意識を共有しています。彼らはポッドの中で同じ意識を共有し、音とテレパシーでコミュニケーションしています。

考えや感情は透明で、秘密や争いや論争はありません。イルカとの出会いのヒーリング効果を体験するためには、自分の感情と繋がる安全な場所にいななければいけません。言い換えれば、未知のことを探求し、隠された感情を発見し、それらを解放するために居心地がよくなくてはなりません。

ワークショップ参加者を野生のイルカと泳ぎに連れて行く場合、ほとんどの人にとって不慣れな環境である海の中で起こります。お互い安心感があるように、グループで海に入ります。イルカのポッドのような一体感を作り出すこともあり、それは、日常生活で多くの人が失っている、繋がっているという感覚をもたらします。

シェアリングは、グループダイナミックの中での安全をクリエイトし、HEFによりエネルギーを流すことを可能にする第5、第4チャクラを開くのを助けるもうひとつの有益なツールです。

シェアリングを通して、「私達は一人ではない。他の人も同じように考えたり感じたりする。」と気づいて、感情を常態化するのと同じように、自分自身を表現し、判断なしに人の話を聞くことを学びます。

私達のフィールドにもっと多くのエネルギーの流れがあって、「意志」や「理由」より「感情」にあるとき、イルカとの出会いにとって、より素晴らしい機会をクリエイトします。なぜなら彼らはエネルギーにとっても敏感で、停滞しているより流れている方がずっと魅力的だからです。さらに第4、第5、第6、第7チャクラを開いていくと、イルカの知性である、高次元の知能に簡単に繋がるでしょう。

### 無条件の愛（太陽）

イルカはエコーサウンドを通してスキャン能力を使って人を見えています。これは、ウルトラスキャンが心臓に埋め込まれたペースメーカーが見られるのと同じように、イルカが人の内側を見ることを可能にします。このことは、まるでイルカは彼らの存在のあらゆる面から本当の彼らを見ることができるとかのように、人々は感情的に透けているように感じさせる傾向にあります。

野生のイルカと密な出会いをしたワークショップ参加者の調査では、イルカとの出会いのあと何を感じたかに関して、多くの人は無条件の愛、無条件の受け入れ、喜び、平和、興奮をあげています。そこには真正なコンタクトがありません。

ヒューマンサイコロジーの創設者のひとりであり、クライアント中心のセラピーを発展させたカール・ロジャース氏は、クライアントとカウンセラーの関係における、無条件でポジティブな対応について話しています。無条件でポジティブな対応は、変化が起こるセラピューティックな関係において、最も大切な要素だと彼は感じています。ロジャース氏によれば、無条件でポジティブな対応は、その人が暖かく受け入れられ、評価され、ありのままの本当の自分として見ることを可能にします。

## 調和と尊重（水）

人類は、歴史の始まりから環境をコントロールしようとしてきました。私達は、人間同士、環境、地球と調和をもって生きることを学ばなくてはならないと私は信じています。イルカは野生の生き物で、彼らには自由な意志があると忘れないことは大切です。彼らは私たちにコントロールされるべきではありません。ですので、イルカと泳ぐことは、神聖な機会として扱うことが大切です。

イルカやクジラのような海洋生物は、彼らの調和を持って生きる能力のため、ポジティブな変容の目標として注目を得てきています。彼らは変えようとするのではなく、海の環境に合わせます。イルカは特に、平和な生き物、高度な知性、テレパシフィックなコミュニケーションとエコロケーションの能力で知られています。イルカは、人間性、意識を成長させたい、人生に調和を取り入れたいと望む人々から、マスターや教師としてく認識されることがよくあります。

## HEF に対する地理的、エネルギー的効果（空気）

ハワイ島は今なお活動しているキラウエア火山がよく知られています。現地の人や観光客は第一チャクラをチャージするパワフルソースであるレアな地球のエネルギーを鮮明に感じることができます。

ハワイの人々は、「愛」を意味する「アロハ」のエネルギーと共に生きています。ハワイの長老は、穏やかさ、受け入れること、暖かさを放出する利己的でない慈悲の愛である、アロハの神聖な意味に従って生きるように教えられています。アロハのエネルギーは第四チャクラを開き、またハララインを整えることを助



けます。

よって、ハワイ島は第1、第4チャクラに強い影響を与えるユニークなエネルギーを包含していると言えます。人がこのエネルギーフィールドにいるとき、彼らのHEFは刺激され、自然にチャージされます。第1、第4チャクラは、他のチャクラを整えチャージするのを助けながら、他のチャクラに影響を与える、バーティカルパワーセンター(VPC)と繋がるでしょう。

同じように、イルカは海中でテレパシーとソナーでコミュニケーションしています。彼らは人間が認識できない非常に高ピッチな音を使います。この音は海中を突き抜け、トーン効果のあるサウンドヒーリングとして作用します。ですので、海中で人が泳ぐとき、彼らのHEFはイルカのエネルギーによってチャージされ、チャクラはVPCで調整、浄化され、調和誘導を通して自動的に湧昇し高まっています。これはBHSを通して起こる現象と似ています。

**イルカとの出会いを最高のヒーリングにするために、これらの要素が必要です。**

土壌・・・安全な場所

太陽・・・無条件の愛（無条件でポジティブな対応）

水・・・調和と尊重

空気・・・地理的は効果とエネルギー

## 調査の概観

この調査は、ハワイ島で2005年7月から9月の間に3回実施された私のワークショップ、Healing Vacation in Hawaiiに参加した日本人に対して行われました。ワークショップは6日間で4回のドルフィンスイムを含み、各ワークショップの参加者は10名です。

このワークショップは、ありのままの自分を表現できるよう、参加者に安全な場所を提供することにフォーカスしています。私の意図は、より隠し事を少なく（可能な限り）、本質と繋がるためにそれぞれの違いを尊重する、ヒューマンポッド意識を創造することでした。それぞれが自分の体験をシェアし、インナーチャイルド意識について学ぶ時間があります。

80人の参加者の中から20人を無作為に選び、イルカと泳ぐ前と後のチャクラチェックをし、調査しました。

## 調査結果

20人（女性18人、男性2人）がこの調査に参加しました。回答者の年齢は20歳から61歳です。大部分（85%）は20代後半から40代半ばでした。このうち、16人は独身、2人が既婚で、2人は離婚していました。職業は以下のように様々です。大学生1人、会社員4人、自営業3人、教師2人、医者1人、ヘアスタイリスト1人、ヘルパー1人、無職3人、ボディワーカー1人。

女性 18  
男性 2  
独身 16  
既婚 2  
離婚 2  
年齢 20-61

大学生 1  
会社員 4  
自営業 3  
教師 2  
医者 1  
ヘアスタイリスト 1  
ヘルパー 1  
無職 3  
ボディワーカー 1

イルカとおよぐ動機は以下の通りです。  
人生をより楽しみたい (17)  
将来への不安、孤独を癒したい (16)  
創造性を高め、もっと自由に表現したい。(15)  
人生をもよりよく変えていきたい (14)  
自分の否定的な感情、痛みを癒したい  
現在直面している問題を解決したい (6)  
思い切り遊びたい (4)  
これといった悩みはない (0)

ほとんどの参加者が人生に変化をもたらし、抑圧してきた感情をリリースしたいと思っていました。  
多くの人は、以下のことから自由になりたいと述べていました。

**自信の欠如、自己価値の欠如、分離している感覚、(両)親からの自立、  
リレーションシップにおけるストレス、仕事でのストレス、人とコンタクトする恐怖**

イルカと泳いだあと、「感情的、身体的、精神的レベルで何か変化がありましたか？」と尋ねました。20人中5人が、以下のような徴候を体験しました。熱、めまい、吐き気、頭痛、下痢。

これは、イルカと密な出会いをしたあとに共通しています。実際の出会よりも先にドルフィンヒーリング効果を潜在意識的に体験したかのように、イルカと泳ぐ前にこれらの浄化反応を体験することもあります。  
多くの人は下記のような感情的な変化をあげています。

- 抑圧されていた感情をリリースできた
- 自分への愛を感じた
- 自分自身でいることに安全だと感じた
- 人とよりオープンで正直でいられた
- 自分自身を表現しやすかった
- 人と身体的コンタクト・アイコンタクトを取りやすかった
- 自分の変容に希望がもてた
- 自分自身のパワーとつながれた
- 精神的に落ち着いた
- インナーチャイルド意識に気がついた
- 自分を癒す必要があると認識した
- 身体的により健康になった
- 人に対して忍耐強く判断をしなくなった
- スピリチュアルな現象に興味を持った

野生のイルカと泳ぐ体験は、人によってそれぞれ異なりますが、高揚して、オープンハートで、希望的な気持ちがグループの中で共通していました。すべての人は超えなければいけない恐れを持っていて、誰もひとりではないということに気がつくのと同じように、愛と受け入れに対する共通の要求によって参加者の間の違いはなくなりました。

その週の間、判断なしに自分自身を表現できるように、それぞれにとって安全な場所を保つ、健康的なグループのハラを創るようにしました。この健康的なグループのハラは、イルカのエネルギーフィールド、ハワイの地理的なエネルギー、人々のポジティブな意図の調和誘導を通して、楽々と創り上げられました。

## 日本人の文化的鑄型

日本の文化には、忍耐と自己犠牲が美德だと考えられてきた、マゾヒスティックで厳格な社会構造があります。

日本人は他の人が何を考えているのか察し、適切なマナーでどう答えるために、HSPを発達させてきました。

ほとんどの日本人は感情を明確に表現することが得意ではありません。その代わりに、日本人は本心を隠し、本心が何であるか想像してもらうのが普通です。これは非常に複雑なコミュニケーションの方法です。

日本は過度に厳格なマナーで行動することを他者に期待するというスーパーエゴがあります。感情的になることはタブーです。感情をコントロールし、感情的にならないように教えられています。

これは、家族や友達からの文化的教え、そして自分のいる環境の観察によることはもちろん、細胞レベルでの遺伝的な記憶によって、何世代にも渡って受け継がれています。

私たち日本人は、怒りや悲しみを表現するはけ口がありません。

その代わりに、平穏のマスクをよく被ります。子供として、私達は両親と身体的、言語的なコンタクトはほとんどなく、愛の必要性をどのように表現するか、また親密な関係をどのように築くか、教えられていません。

今日では、日本での結婚はシステムのような何かになってきています。男女が結婚し、夫はお金を稼ぐために懸命に働き、妻は子供を育てます。親密なロマンティックなやりとりは滅多に見られません。

多くの日本人は人生を変えたいと思っていますが、どうしたらいいのかアイデアがありません。人に判断されたり批判されたりすることにたくさんの恐れを持っています。

私達のスーパーエゴは上品で礼儀正しく、規律に沿うようにとっています。これはチャクラ5Aと2Aにブロックを作ります。自分に必要なもの、自分の真実、自分の感情を表現する機会が多くなかったので、第5チャクラと使うことは日本人にとっては難しいかもしれません。

たとえば、私のワークショップでは、最初は遠慮している人が多いですが、安全な場所で口を開いた途端、彼らはとても話し好きでエッセンスや知識を表現できるようになります。

## HEF&チャクラ

ドルフィンスイムの前と後に、ペンデュラムで参加者のチャクラをチェックしました。6日間で、4回スイムがあります。どのチャクラがブロックしているかを見るため、9人をチェックしました。

ボックスの中の数字はチャクラが水平である、ブロックされている、閉じているかどうか示しています。

ブロックされたチャクラの数

1st	3
2A	5
2B	2
3A	1
3B	4
4A	4
4B	4
5A	6
5B	6
6A	4
6B	2
7 <sup>th</sup>	1

調査によると、第5チャクラの前と後ろ両方が水平または閉じていることが多かったです。第5のあと、最も閉じていたチャクラは4Aと4B、それから2Aでした。

ドルフィンスイマーの何人かの第1チャクラは地球からエネルギーを取り入れることができませんでした。彼らの第1チャクラは小さく、変形し、ゆがんでいて、浄化、チャージ、再構築が必要でした。彼らは上半身より下半身のエネルギーが少ないのかもしれませんが。

それは、日常生活でもがき、争いと避ける傾向にあるというシグナルです。争いを経験するより、理想的な世界に住み、理想的な自分であることを選択することが多いようです。さらに、彼らはさらにコアから遠く離れ、多少の孤独を経験しています。

第2チャクラは自己愛、自己尊重、創造力、セクシュアリティと関係があります。このチャクラのブロックは抑圧された感情を表しています。

多くの場合、第2、第5チャクラはお互いにある種の関係があるとわかりました。第2が上手く作用していない場合、第5チャクラもまた上手く動いていませんでした。第2チャクラにブロックがある場合、人生観をもっていませんでした。

第4チャクラは親密さに、愛すること、人と関係を持つことと関係しています。第3チャクラは自己意識と外界との関係に関係しています。多くのドルフィンスイマーは第3チャクラの裏は過度に動いており、ほとんどは3Aにシールドがありませんでした。これは自己認識の欠如と人生の意味への探求と関係があるかもしれません。

第5チャクラはコミュニケーションと関係があります。ですので、このチャクラの周りのブロックは、真実を語ることや、人との身体的、感情的、親密な関係を持つことに問題があるシグナルです。

9人中8人が人生で親密さに難しさがあり、真正なエッセンスに留まるより、良い人で、上品で、礼儀正しいマスクを付けることを選ぶことがよくあると言いました。彼らの多くは(過去、現在の)両親との健康的でない関係や、現在のリレーションシップのネガティブな悪循環に気がついていますが、これが彼ら自身に影響していることに気がついていません。

たくさんの側面から7日間に渡ってこのような人々を観察しました。

野生のイルカと泳いだ後、9人中8人のチャクラが素早くシフトし、時計回りに回り出しました。1人だけの第2と第5チャクラがまだ水平状でした。このようなケースでは、第2、第5チャクラの問題をBHSでさらに探求するよう勧めます。

このグループの主な特徴は以下の通りです。5人がマゾヒスト、2人が精神分裂症、2人が厳格者でした。オーラルと精神病の特徴はこのグループでは卓越していませんでした。

## オーラフィールドの相互作用（調和誘導、バイオプラズミックストリーマーズ）

水中での人とイルカの間には、HSPで探求できる4つの次元があります。私がイルカと泳ぐとき、水に入る前にまずはグランディングします。水に入ったら、意識的にハートを開き、イルカに向かって愛の光線を送ります。まずは意識的にエネルギー的にイルカとつながり、それから身体的に近づきます。イルカが私に侵入されていると感じないように、こうすることで摩擦を起こすことなく彼らのフィールドに入っていくことを簡単にすると、いつも感じました。

水に入っていくとき、私のエネルギーフィールドは、特に第2と第4レベルが自動的に浄化され洗い清められます。自分自身がより輝いて、流れがあることを体験します。また、私のフィールドの第1、第3、第5レベルで、バウンダリーの定義がシャープでなくなる感覚を感じ、調和誘導を受け取るのが簡単になります。

フィールドの第4レベルを通してエネルギー的に繋がるにつれて、イルカのバイブレーションな周波数に共鳴します。私は彼らと共にやってきて、仲間として融合しています。

バーバラ・ブレナンは彼女の著書「Light Emerging」（1993年）で書いています。この仲間は個別性に分かれていくことを可能にします。個別性を通してのみ、ユニークな内なる神性を知ることができます。内なる神性を知れば知るほど、仲間として一緒になることができます。この自己認識を成長させる巡回プロセスを通して、愛が創造されます。(p.178)

イルカのエネルギーフィールドとチャクラは、「理由」「意志」「感情」の間に分離がありません。水中でより調和誘導を受け取り、バランスが取れてくるに従って、イルカのフィールドの周波数に融和し、本当の自分自身とつながっていると感じ始めます。

水中では、無重力のスペースがあり、私は自由に逆さまに泳いだり、回転したり、イルカのようにターンします。これは私の脳のバランスを取り、無私の状態にします。私はイルカと泳ぐとき、すぐに第4チャクラが活発になり精力的になります。フィールドの第4レベルでイルカに向けてバイオプラズミックストリーマーズを送ります。このバイオプラズミックストリーマーズは、私達のコミュニケーションが心地よく楽しいときは、スムーズな流れ、ソフトで明るい色のように感じます。エネルギーの流れはソウルシート、コアスター、チャクラの周りの曇りをクリアにするのに十分な強さがあり、ハララインをより強くし、VPCをチャージすることを助けます。

ブレナンがLight Emergingで書いたように、  
「ポジティブな反応は私達のフィールドをチャージし滋養を与えます。たくさ



んあればあるほど、私達の人生はより豊かで、満たされ、幸せになります。」  
彼女はこう続けます。「オーラフィールドシステムを通してコミュニケーションする  
主な方法はお互いのフィールドの波動レートを影響し合うことです。ある人の  
フィールドの波動レートは他の人のフィールドの波動レートの変化を引き起こ  
します。それはちょうどチューニングフォークのように作用します。どちらの  
オーラフィールドがより強くても、大抵はもう一方に影響を与えます。グルの  
フィールドに座るために長距離を旅するのはそのためです。」(P179)

これは人々が野生のイルカと泳ぐことを望んでいる理由と似ています。イルカ  
は左脳と右脳の間境界がなく、グルのように、瞑想状態でバランスが取れて  
います。イルカは人が近くにやってくるといつも彼らのフィールドの周波数、  
サイズ、パワーを増大させます。イルカのエネルギーフィールドにいるとき、  
私のオーラフィールドはより高い波動に引き上げられ、素晴らし感覚です。

## ハラ&コアスター

ハラを整えることは、ポジティブな意図を持って、毎瞬、意識的な選択で人生をクリエイトできるという感覚を回復するために、ドルフィンスイマーにとって非常に大切です。

多くのドルフィンスイマーはハララインの辺りに問題があるように思われます。彼らのハララインは弱く、地球に深く入っていきません。ハラヒーリングは彼らの HEF において深い滋養と安全を与えることができます。

ドルフィンスイマーのコアスターは彼らの VPC と完全に繋がっていないことがありました。しかし、イルカと泳いでフィールドをチャージすると、コアスターは輝き出します。コアスターヒーリングは本当の自分は誰なのか、ありのままの自分からどうやって人とコンタクトするのかを思い出させてくれます。

## 多次元コアスターの拡張

野生のイルカとのアイコンタクトを通して経験した、無条件の愛、受け入れ、許しについて前述しました。目は心の鏡だとよく言われますし、ドルフィンワークショップに来る人の多くは、アイコンタクトを通してイルカとの「魂レベル」でのコンタクトについて話していることに気がつきました。

私の個人的な体験では、7-10 秒間アイコンタクトしながら泳いだことがあります。私は興味を持って彼の目を観察しました。黒いベルベットの真空の深さをもった黒いブドウのように見えました。目を見ている間、ハートからコミュニケーションし、「あなたに会えてとても嬉しいです。」と伝えました。そして「この相互作用を通して、あなたは私に何を語ろうとしているのですか？」と尋ねました。そのとき、私が期待したものとは違った答えがありました。

その目は時間も空間もない感覚を私に与えました。そこにはどんな感情もエゴもありませんでした。アイコンタクトの深さの中で、私のコアスターがイルカのコアスターと融合していることを体験し、私の存在のあらゆる面を通して私のコアスターが拡張するのを体験しました。これは私の存在のすべての4次元、身体的、オーラの、ハラの、コアスターにポジティブに影響しました。

BHS ヒーリングでは、グランディングして自身のコアスターのセンターにいるヒーラーの能力を通して、コアエッセンスを拡張でき、そしてつながって、クライアントのコアスターの拡張をサポートできます。

野生のイルカはアイコンタクトだけを通して、これと同じ効果を与えてくれることを体験しました。私自身のコアスターとつながり、拡張し、瞬く間に、コアエッセンスの固い球体の第 1、第 2、第 3 バリアを突き抜けることを可能にする、コアスター拡張のプロセスを感じました。イルカの目を通して、黒いベルベットの真空と出会い、それと同時に私は黒いベルベットの真空だと感じま

した。

多くのワークショップ参加者がイルカとの出会いを通じて、明るさとコアスターの輝きが増したことを目撃しました。自己の受け入れ、自己愛、自己信頼の感覚がよく報告されました。なぜならコアスターの拡張、自己定義のバリア、過去性からの未解決のカルマ、自己制限が地球とつながり、突き抜け、黒いベルベットの夜空の広がりを超えていったからです。これは、人類にとって、全体の将来の見通しへのシフトを次第にもたらすでしょう。

より自分自身への自信と大きな愛を感じたと、ワークショップ後にある参加者がフィードバックをくれました。ある人は、人として自分自身でいられやすくなり、長い間抱いてきて自分に向けてのネガティブな感覚をリリース出来たと話してくれました。またある人は、愛と光に満たされた人生に値すると感じたと話してくれました。これらのコメントは参加者のコア拡張の体験に関係しており、深いレベルでの意識のシフトをもたらしました。

## 日本文化のための BHS エネルギーヒーリングとドルフィンヒーリング

野生のイルカと泳ぎに私のハワイのワークショップにきた何人かと個人的にワークしました。個人的に BHS セッションをし、日本へ帰ったあとの変化を追跡するために遠隔ヒーリングをしました。彼女たちの生活にイルカ効果がどのように統合されるのか、そしてその体験からどのように彼女たちが変容するのかを探求し続ける計画をしました。

BHS はイルカと泳ぐのと同じようなポジティブな効果を提供するパワフルなヒーリングツールを用意しています。日本へ帰った後、参加者は新しい体験と高い波動のエネルギーを彼女たちのエネルギーフィールドに統合するサポートを必要としていました。BHS の多次元アプローチはこれによく作用します。イルカと密な出会いをしたあと、彼女たちのフィールドの新しいエネルギーはある種の混乱や不快感をもたらすことがよくあります。BHS ヒーラーはエネルギーフィールドを調整、順応させ、人生の目的や憧憬に対する意図を整えるのを助け、コアエッセンスと共に生きる手助けができます。

ケース1：クライアント名 M 28歳 日本在住  
2004年4月ドルフィンワークショップ参加者

初めてMと会ったとき、彼女はとてもシャイでほとんど話しませんでした。第1チャクラが弱く、第2、第3、第5チャクラにブロックがありました。ワークショップ中、彼女は海で素晴らしい時間を過ごし、明確に、穏やかに、彼女の4Dにイルカ効果が見られました。彼女のオーラフィールドは輝きだし、より流れ出しました。以前、コアスターはグレーの雲に覆われており、彼女の本当のエッセンスを言葉で表現することに困難がありました。

しかし、イルカと泳いだ後、雲は晴れ、すぐにコアエッセンスが放射され輝きました。彼女のハララインはより強くなりました。以前は内向きで、VCPで調整する必要がありました。しかしその週の後、ハララインは、特に丹田とソウルシートの間で、より整合し、より強くなりました。

しかしながら、彼女はまだ、ハララインの流れを阻害している、第3チャクラに問題がありました。彼女が疲れやすいことに気づき、これを探る必要があると感じました。毎回イルカと泳いだあと、自分自身とより深くコンタクトすることを始め、いかに自分の繊細な体と感情を大切に扱う必要があるかを理解し始めました。5Aチャクラの辺りに深いブロックがまだありましたが、少しずつ他の人に自分自身を表現しだしました。イルカ効果は彼女の4Dに見られましたが、ヒーリングプロセスと気づきの旅にさらなるサポートが必要でした。

1年後、Mはヘルパーとしてハワイに戻ってきました。彼女が何を欲しているのか表現でき、ハワイに戻ってくるリスクをとったことが嬉しかったです。成長し、より深いレベルで人生にイルカ効果を統合しようとするクリアでポジティブな意図を持っていました。

彼女のケースにはBHSヒーリングが大きなサポートになると感じました。Mの主なキャラクターは、マゾヒストとSchizoidです。6ヶ月に渡って6回のヒーリングセッションを彼女にしました。(2005年8月15日～2006年1月22日)ハワイで4回の個人ヒーリングセッションと東京(8月15日、9月30日、10月4日)と2回の遠隔ヒーリングセッション(11月25日、1月22日)です。

彼女は父親の転勤の関係で、引っ越しの多い両親の元で育ちました。新しい場所に引っ越す度に、新しい友達、新しい学校に馴染むのが大変でした。拒絶される恐れが出てきました。彼女は生まれつき左利きでしたが、両親は右手を使うように強制しました。この体験は、人は彼女を受け入れず、愛されるためには自分自身を変える必要があるという信念を形作りました。

8月15日の最初のセッションでは、Mの現在の不満は、低い自己尊重を改善し、

感情をリリースし、より良いコミュニケーションスキルを発達させたいということでした。

身体的には腎臓が弱く、4年前に血尿を経験しています。寒がり、下半身は上半身と比べて大きい。第1、第2、第3チャクラが弱い。第3チャクラがシールドで保護されておらず、とても壊れやすい。第5チャクラにブロックがある。とても受け身で、HEFでエネルギーが上手く流れていません。私は彼女とすでに信頼関係を築いていたのですが、安全なフィールドを用意するために神経を使う必要がありました。

彼女の弱い第2、第4、第6レベルを強くするために、存在の状態として、無条件の愛を抱きながらキレーションしました。第1チャクラも弱く小さかったです。最初のセッションではチャージと浄化をしました。彼女の第2、第3、第4、第5、第7チャクラは水平状で、第3チャクラは引き裂かれていると感じたので、父親とのコードヒーリングをしました。基本的に、父親への彼女のコードは引きちぎられて内側へ縮んでいました。父親のコードは空中に浮いていて娘として慈しんでいませんでした。再び彼らのコードを繋げ、父親からの養育を受け取れるように愛と光で満たしました。

ヒーリングのあと、彼女のチャクラ（5Aを除く）は時計回りに回りました。そして、彼女へのメッセージをチャンネルすると、「他の人になる努力を必要はない。あなたの美しさに気がつきなさい。あなたは安全です。あなたは十分に素敵です。そのままのあなたをただ愛しなさい。あなた自身を愛せたら、すべては再び動き出すでしょう。」ということでした。

10月4日の3回目のセッションでは、自己尊重が低いことをワークしました。第2、第4、第5チャクラあたりの第2、第4レベルをアストラルヒーリングしました。また、人が彼女を受け入れないという考えについてもワークしました。ディスカッション中、彼女は泣いて、HEFはクリアになりました。

11月25日の4回目のセッションは東京で彼女に会いました。ハワイから日本へ戻って1ヶ月後です。ハワイのエネルギーフィールドより重たい日本のエネルギーフィールドに慣れるための時間を取り、1週間休んでいました。恐れではなく、したいことに基づいて決断できるように、ハラヒーリングをしました。彼女のハララインは弱く、4A以外のほとんど全てのチャクラは水平状で、VPCと上手く繋がっていませんでした。

1月6日と22日の第5回、第6回のセッションで、彼女の弱った腎臓をスピリチュアル手術と臓器の再構築でワークしました。彼女の腎臓は小さくて恐れで縮んでいたため、暖かい光のビームとマッサージで臓器を再構築しました。腎臓はエネルギーの点火を待っていたのです。

Mの熱心さは、これらのフォローアップセッションでサポートされていると感

じていることを示しており、私には彼女の成長が見られました。神性な意志と共に  
により信頼を獲得し、人生の目的を認識することを学んでいました。彼女は真  
実とより繋がりだし、ハララインは少しずつ発達していきました。

彼女はさらに健康になるように、健康的な栄養、カンボジアダンス、フラ、ヨ  
ガを学ぶことに興味がありました。彼女は恐れに隠れているより、楽しいこと  
により時間を費やし、新しいグループの人の中にいるときはまだ神経質になり  
ますが、それを感じることを自分に許しました。彼女は外の世  
界にもっと好奇心を抱くようになり、コアエッセンスはより輝き、かつてより  
ずっと感情を表すようになりました。彼女は人生の目標をまだ見つけていませ  
んが、そこに向かってるのがわかります。

ケース 2：クライアント名 Y 29 歳 会社員  
2005 年 9 月のドルフィンワークショップ参加者

Y はワークショップ参加の少し前に仕事を辞め、人生を一新する必要があると感じていました。

彼女がハワイに来たとき、2A と 6A 以外のチャクラはすべて水平状でした。ワークショップ終了時には、すべてのチャクラは時計回りに回っていました。彼女はイルカとたくさん泳ぎ、海から上がってくる度に、彼女にドルフィンヒーリング効果を見て取ることができました。彼女の HEF は輝きを増し、より柔らかく明るくなり、チャクラはより健康的になりました。

ソウルシートの辺りの雲はクリアになり、調和をもって人と繋がり、人生でもっと愛を感じたいという内なる憧憬を繋がることができました。また、恐れ、怒り、グループへの恨みを表現し、サポートを受けました。周りとのコンタクトを取り、分離を選択する代わりに調和に向かって動くことは、彼女にとって新しい経験でした。

Y のハララインは特に ID ポイントとソウルシートの間、丹田と ground の間でより強くなりました。なぜならたくさんの表現されていない感覚、感情、第 3 チャクラの問題のため、丹田とソウルシートの間には繋がりがなかったからです。彼女はこのエリアをより深くワークしたいと思いました。私は BHS ヒーラーとして、丹田とソウルシートの間エネルギーブロックをもたらしていた、第 3 チャクラ辺りの問題とインナーチャイルド意識を探求する旅をサポートしました。また、彼女の憧憬に沿ったクリアな意図をセットするサポートをしました。

Y は自分自身を探求し、人生の目的を探し、自分自身を癒すため 3 ヶ月ハワイに戻ってきました。現在の彼女の悩みは、気持ちの混乱、貧しさの恐れ、孤独でした。1 と 2A を除くほとんどすべてのチャクラが水平状でした。エネルギーが彼女の HEF に流れていません。

2005 年 12 月 9 日の最初のセッションで、彼女はチャージが必要だと感じたので、それぞれのチャクラとフィールドをキレーションしました。キレーションのあと、チャクラは時計回りに回転しだし、HEF は流れ出しました。彼女の孤独な子供の意識について話し、その意識をどうやって取り扱うか教えました。

2006 年 1 月 7 日の 2 回目のセッションでは、彼女はとても不安定でした。安全を探して場所を移していましたが、まだ不安を感じており、見知らぬ人に侵害されることを恐れていました。彼女のエネルギーディフェンススタイルは「porcupine」でした。彼女のエネルギーフィールドを落ち着かせるため、グラウンディングスキルを教えました。

リレーションシップにおける彼女のネガティブなパターンは、居心地が悪かったり、脅かされたと感じると、友達や家族との関係コードを切ってしまうこと

だと話してくれました。会話の間、彼女は安全でない、保護されていないエネルギーフィールドで育ったと分かりました。両親との関係は健康的でなく、自分の要求を伝える健康的な方法を学びませんでした。

父親とのコードヒーリングをしました。コードは暗く、赤い色で、エネルギーは怒り、憎しみ、怒りで滞っていました。重いエネルギーをクリアにし、純粋な愛のローズの光で満たしました。コードを切って人を置き去りにするよりも、「人と繋がり、受け入れられたい」ということに対して、行動を起こすように教えました。この提案のあと、彼女は自分のパターンを変えることを決心しました。友達と思っていることを伝えるために友人にコンタクトを取り、壊れたリレーションシップを修正し始めました。

3回目のセッションで、第3以外のチャクラは時計回りでした。ハラヒーリングをしました。彼女のストラクチャーレベルは固く、第2と第4と第6レベルは良いエネルギーの流れでした。それはクリアで、強く、柔らかく繊細に感じられました。第1チャクラはより開いており、ハララインはIDポイントからソウルシート、丹田からGroundの辺りが特に強くなってきていました。第3チャクラの辺りのハララインはクリアな線でなかったので、もう少しサポートが必要でした。

Yの全身体的、感情的な存在は驚くほどシフトしました。現在彼女は、勇気が必要な人と分かち合えるよう、自分自身のヒーリングと成長の旅についての本を書きたいという希望を持っています。

MとYは野生のイルカと泳いだ経験があり、私はフォローアップとして彼女たちとワークしました。イルカと泳いだことのないクライアントより、エネルギー的にずっと簡単に繋がることを認識しました。彼女たちにはコアエッセンスと繋がることを可能にする経験があり、そのことは、エッセンスから人と繋がることをより簡単にさせていると思います。



## 結論

私のドルフィンワークショップ Healing Vacation in Hawaii の調査結果は、ハワイ島における海中でのイルカとの出会いのヒーリング効果を示しています。ワークショップ参加者の様々な性格タイプ、年齢、抱えている問題、バックグラウンドは、体験したいと望む誰にとっても効果的なヒーリングツールとして、ドルフィンヒーリング効果を支持します。

個人のケースの例として、イルカとの出会いを導入として使い、それから BBSH のツールでヒーリングプロセスを続けることによって、人生の視野を広げるためにすべての人にとってユニークで深い体験が可能です。

安全な場所の存在、無条件の愛、調和と尊重、地理的なエネルギー、土壌、太陽、水、そして空気が種を育てるように、イルカとの出会いのヒーリングはスイマーとイルカの間で生まれます。そして、BBSH のツール、特にヒューマンエネルギーフィールド(HEF)、ハラ、コアスターは、ヒーリングプロセスを起こし、各参加者の人生にドルフィン効果を統合することができます。

気づきのこの多次元な引火を通して、ヒーラーとしての私達は、私達すべてが持っていることを知っている本当の自己、コアエッセンスに人々を導く機会があります。ドルフィンヒーリング効果は楽々と起こり、他の動物とのリレーションシップでの無条件のポジティブな肯定を体験することができます。この体験はエネルギーフィールドでセラピューティックな効果があり、それぞれの神性なエッセンスと繋がることを促します。

細胞レベルで内側のコアに一度繋がれば、身体的、精神的、感情的に、神性なエッセンスから人と繋がりがやすくなります。ここから、ヒーラーとしての私達とワークショップ参加者、そして出会ったすべての人々は、外の世界、アメリカ、日本、そして世界中で、ポジティブで調和のとれたヒーリングエネルギーを引き起こすことが可能なのです。